



プラスセーフ

# + Safe通信

(介護施設・第4号)

令和8年4月発行

事務局：富山労働局健康安全課  
電話 076-432-2731

## 富山介護施設 + Safe協議会

【構成員】社会福祉法人おおさわの福祉会  
社会福祉法人喜寿会  
特定医療法人財団五省会  
富山県厚生部高齢福祉課  
富山県老人福祉施設協議会

「富山介護施設+Safe協議会」とは  
転倒、腰痛等の労働災害が増加傾向にある介護施設について、県内のリーディングカンパニー、地方公共団体、関係団体等を構成員として、令和4年度から開催しているもので、構成員が取り組んでいる労働災害防止に向けた好事例を同業種に周知することなどにより、労働災害の減少を図るものです。

令和8年1月29日、富山労働総合庁舎（富山市神通本町）において、令和7年度第2回「富山介護施設 + Safe協議会」を開催しました。

協議会では、富山労働局の担当者による労働災害の現状に関する説明のほか、協議会における今後の取組等について意見交換を行いました。



## 構成員の意見、協議内容等

- ・ 昨年7月に本協議会で開催したノーリフティングケアをテーマとするセミナーは勉強になった。
- ・ 当施設で行っている、ヨガを取り入れた体操などの腰痛予防の取組に効果を実感しており、この取組を広く周知したい。
- ・ 介護リフトなどの機器は、使用する人材の確保や使い方の研修が重要だと感じている。また、こうした機器について、整備や更新時の助成・補助の制度が充実するとありがたい。
- ・ 労働災害防止に活用できる補助金などの情報をもっと提供してほしい。
- ・ 高齢者が高齢者を介護する状況が増えており、高齢者の特性に配慮した労働災害防止対策が必要と感じている。
- ・ 腰痛予防に高い知見をお持ちの元森之宮医療大学教授 上田先生が春に富山へ来られる機会があるため、本協議会において上田先生を講師とする勉強会を開催してはどうか。

以上の議論を踏まえ、令和8年度は、提案のあった勉強会を開催するとともに、引き続き構成員の拡大など協議会の活性化に取り組んでいくことを確認しました。

## 富山労働局は各事業場に「SAFE コンソーシアム」への加盟を呼びかけています！

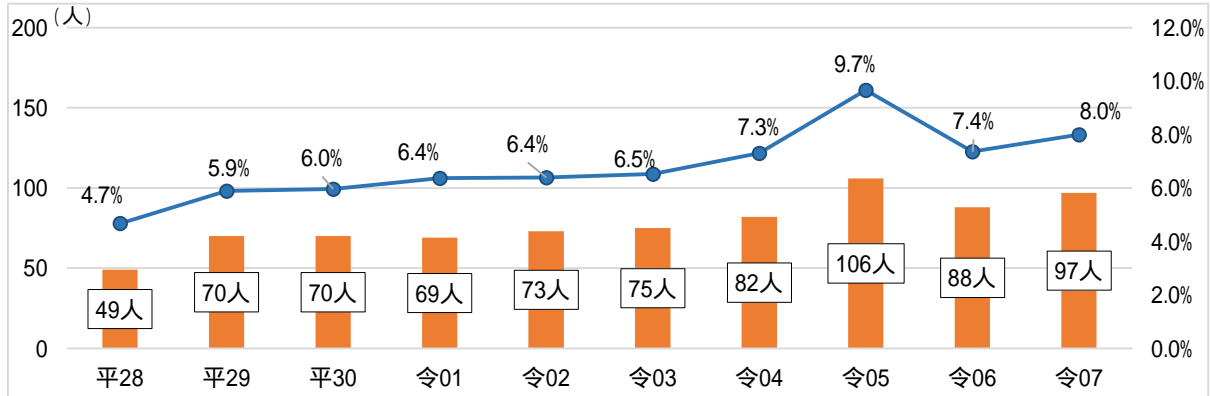
2022年6月に厚生労働省が設立した、労働災害防止の取組を進める活動体。「Safer Action For Employees」を旗印に、全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指して取り組んでいます。



## 【富山県内の社会福祉施設における労働災害発生状況】

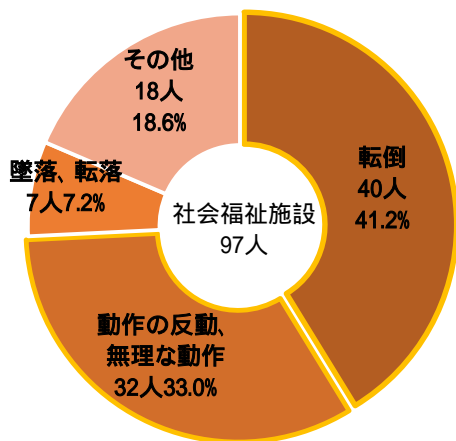
○休業4日以上<sup>1</sup>の死傷者数 の推移（過去10年間） 新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害を除く。  
 ・休業4日以上<sup>1</sup>の死傷者数及び全産業に占める割合とも、長期的には増加・上昇傾向にあります。

棒グラフは休業4日以上<sup>1</sup>の死傷者数、折れ線グラフは全産業に占める社会福祉施設の同死傷者数の割合を示す。

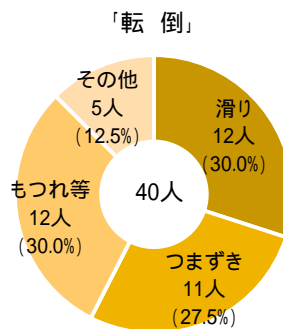


### 事故の型別死傷者数（令和7年）

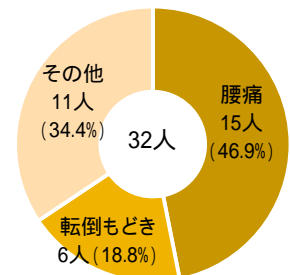
事故の型別では「転倒」が最も多く、次いで腰痛をはじめとする「動作の反動、無理な動作」が続いています。  
 「転倒」の要因（滑り、つまずき、もつれ等）に大きな偏りはなく、転倒全般に対応した取組が求められます。



#### 【要因別内訳】

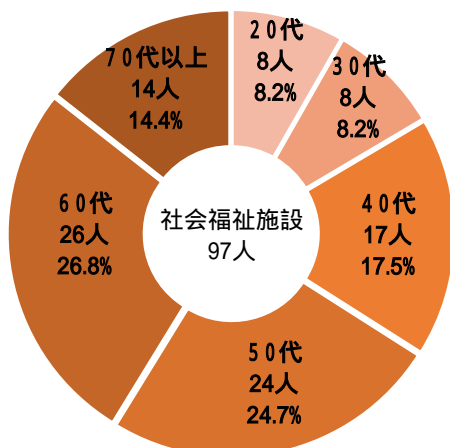


#### 【動作の反動、無理な動作】



### 年齢別死傷者数（令和7年）

年齢別では60歳以上が4割余りを占めており、特に「転倒」では60歳以上の割合が55%と高くなっています。



#### 【事故の型別年齢別内訳】

「転倒」では60歳以上が55%を占める。

